



国連気候変動ボン会議報告会

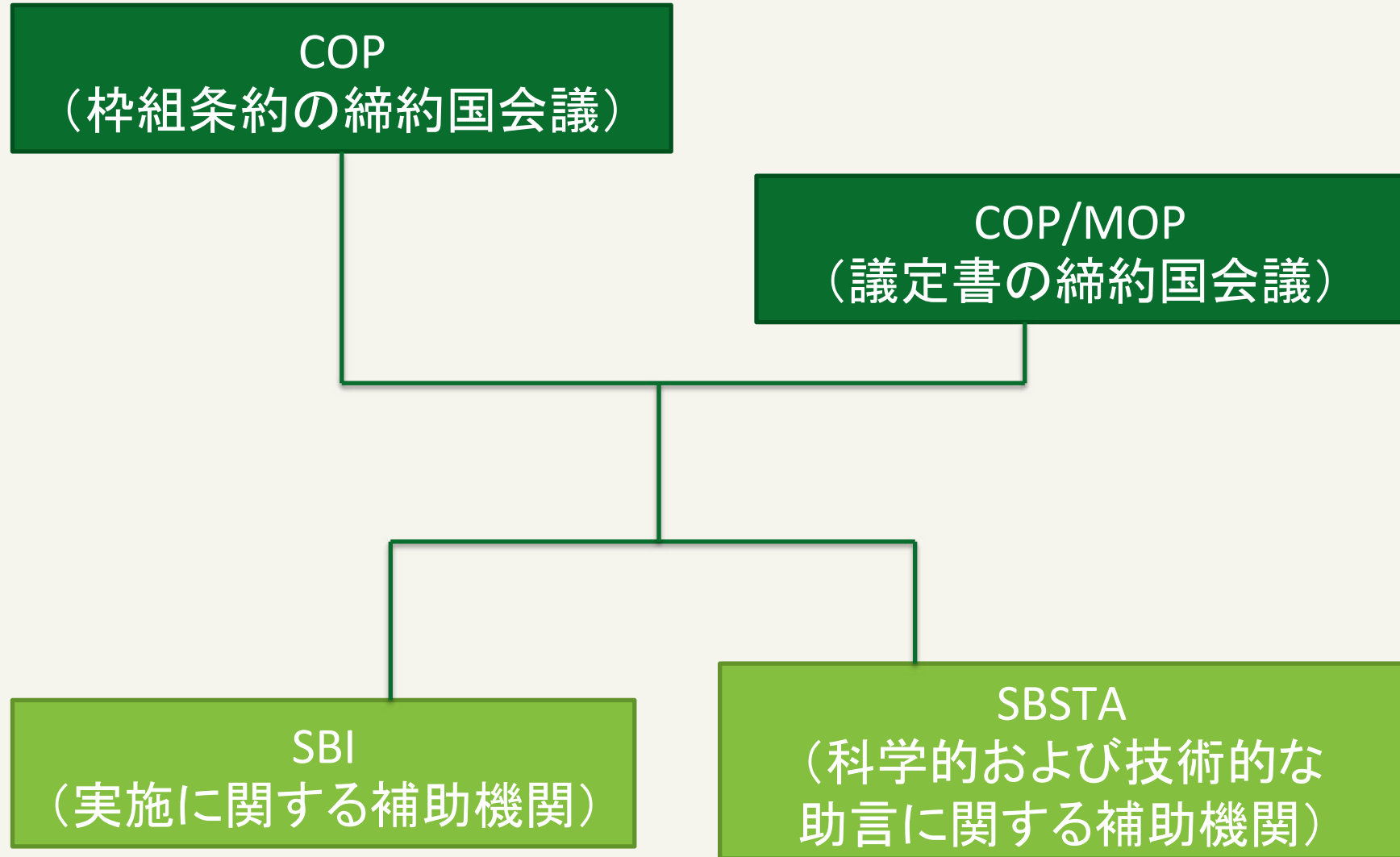
SBI38・SBSTA38の議論

WWFジャパン 気候変動・エネルギーグループ
山岸 尚之

2013年7月2日(火)
東京ウィメンズプラザ・視聴覚室



SBI・SBSTAの位置づけ





SBIの悲劇



何が起きたのか？

ロシア・ウクライナ・ベラルーシが以下の項目を議題として提案

19. Procedural and legal issues relating to decision-making by the Conference of the Parties and the Conference of the Parties serving as the meeting of the Parties to the Kyoto Protocol.

(訳: 19. 締約国会議(COP)および締約国会合として機能する締約国会議(COP/MOP)による意思決定に関わる手続きおよび法的問題)



- 途上国グループは反発。
- 先進国も、とにかく議題は採択してSBIの議論を進めるべきだと主張。



SBIとしての議題に合意できない状態がほぼ2週間続き、SBIの下での議題項目はいずれも議論できずに終了。



問題の背景

①CMP決定(議定書改正)のインパクト

- ロシア、ウクライナ、ベラルーシ、カザフスタンは、(得られたはずの)多くのホットエア(余剰排出割当量)を失うことに。

②ドーハでの決定のされ方

- COP18・COP/MOP8の議長は、ロシア等の国々が反対しているのを、半ば押し切る形で採択をした。

③COPおよびCOP/MOPでの意思決定方法が未決

- 締約国会議における意思決定の方法は、ずうっと未決のまま。
- このため、一般的な国連ルールである、コンセンサス方式が使われてきた。



SBIが開かれなかったことによる主な影響

損失と被害 (loss and damage)

- “国際メカニズム”議論の遅延: COP18決定では、COP19において、国際メカニズムを含む制度的取り決めを作ることを決めている (Decision 3/CP.18, para 9)。元々、COP18でも先進国-途上国間で紛糾した争点だけに、時間の浪費は深刻。

CDM・JIの見直し

- 本年内に改革のシグナル出せない?: CDMおよびJIの見直しは、マラケシュ合意の時点で予定されていた事項。現在の市況低迷を受け、多くの国や事業者は、この見直し作業でポジティブなシグナルが国連プロセスから出てくることを期待しているが……。CDMの(交渉ではない)ワークショップは予定通り開催された。

2013-15レビュー

- SBSTAとの合同コンタクト・グループ開かれず: COP18の決定で、SBSTAと合同で会議を開くことになっていたが、開かれず。



SBSTAの進展？



いくつかの分野での継続的議論

REDD+

- 意外な進展？：

新しい市場メカニズム(NMM)、様々な手法のフレームワーク(FVA)

- **ダブル・カウンティング**：問題の重要性については、概ね合意がある
- **FVAの役割については、引き続き対立**：中央集権的なルール形成か、それとも自由なメカニズム形成の促進か
- **NMMの詳細ルール検討には未だ入れず**：FVAの議論を先にすべきか

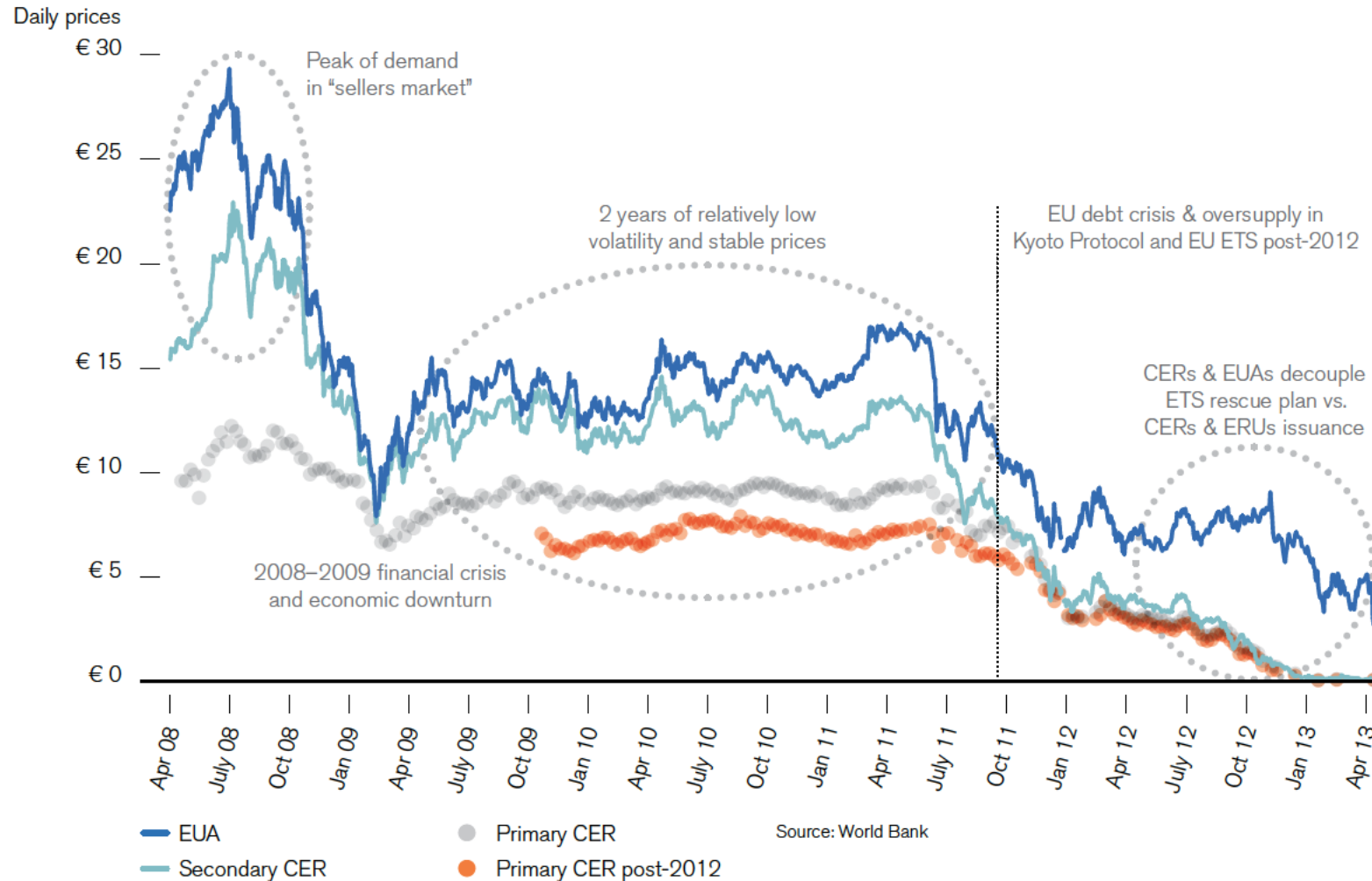
その他の分野

- 「適応に関するナイロビ作業計画」の新しい内容、「農業」分野における取組みの範囲(「緩和」を入れるかどうか)、先進国・途上国の2020年へ向けての取組みに関するMRVのガイドライン等が議論されて、今後も継続されることに



市場メカニズムに将来はあるのか？(1)

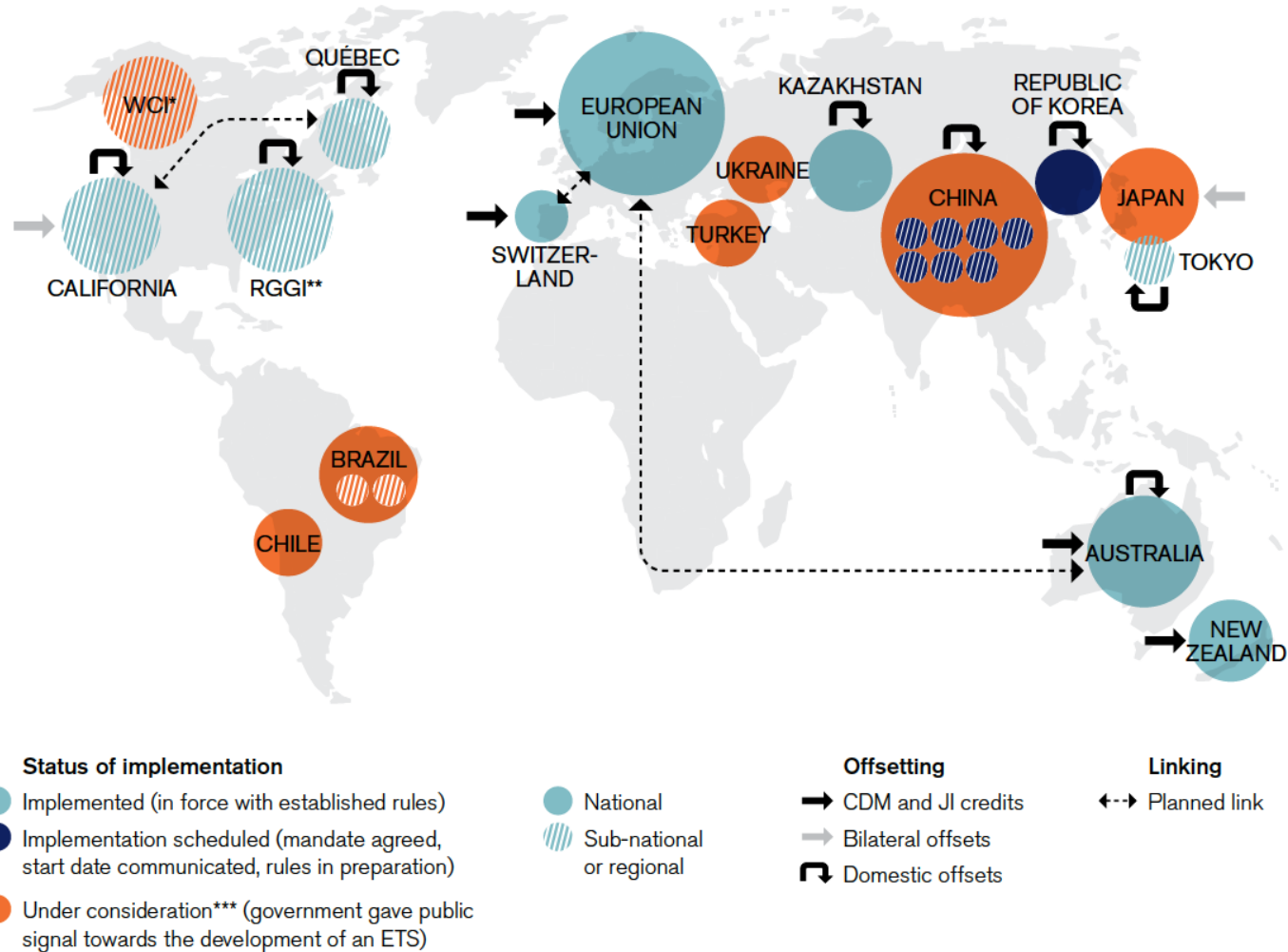
Figure 4: EUA and CER prices (2008–2013)



(出所) World Bank (2013) *Mapping Carbon Pricing Initiatives*. World Bank.

市場メカニズムに将来はあるのか？(2)

Figure 3: Map of existing, emerging, and potential emissions trading schemes



(出所) World Bank (2013) *Mapping Carbon Pricing Initiatives*. World Bank.

Presentation title can go here
Secondary text can run underneath

WWF の概要

+100

WWF は5大陸、
100カ国以上で
活動を展開
しています

1961

WWFは1961年に
設立されました



+5000

WWF は全世界で
5000人以上の
職員が勤務
しています

+500万人

WWFは500万人以上の
サポーターの方々に
支えられています



www.wwf.or.jp